

美濃陶磁歴史館だより

美濃陶磁歴史館

☎1245

妻木平遺跡と妻木城

近年、妻木町に位置する妻木平遺跡で土岐明智氏の館と目される堀や建物が発見されました。堀跡は新旧2つあり、新しい堀は古い堀の上に造られ、1辺が60m以上、幅9.4m、深さ0.8m、古い堀は、1辺が40m、幅9.5m、深さ1.7mを測ります。堀の全てを調査できたわけではありませんが、その位置を明治時代の字絵図に重ね合わせると、堀の一边が最大111mを測る巨大なものであったことが明らかとなりました。

妻木城は、妻木平遺跡の南を流れる妻木川の対岸に位置しています。室町時代から使われ始め、江戸時代初め頃まで城として機能していたと考えられます。このため、土岐明智氏と妻木氏の居城であったことがわかります。調査では、13～18世紀にわたる陶磁器や礎石建物及び掘立柱建物が多数確認されました。日常食器と共に茶陶が数多く出土したことから、戦いの場以外での利用をうかがわせます。また、商品にならない焼成不足の製品や窯道具が多数含まれていたのも特徴的です。

特別展

「～光秀の源流～土岐明智氏と妻木氏」

期間 ～5月31日(日)

※6ページ トピックスときを参照



妻木平遺跡の堀(室町時代)



鉄釉天目茶碗

(妻木城跡出土遺物・室町時代・土岐市美濃陶磁歴史館蔵)



国際陶磁器フェスティバル美濃'20 INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL'20 MINO, JAPAN

国際陶磁器フェスティバル美濃'20 今秋、開催!

【国際陶磁器フェスティバル美濃とは?】

日本最大の陶磁器産地「東美濃地域」で3年に1度開催している「世界最大級の陶磁器の祭典」。「土と炎の国際交流」をメインテーマに、陶磁器のデザインと文化の国際的な交流を通じて、更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目指しています。



1986年に第1回を開催し12回目となる今回は、9月18日(金)から10月18日(日)の31日間、セラミックパークMINOを主会場として開催します。

メインイベントである国際陶磁器展美濃は国際的に認知された陶磁器コンペティションで、今回は64の国と地域から約2,400作品の応募がありました。「やきもののゆくえ」をテーマとした世界中の作品が一堂に会す展覧会となります。

また、来場した方が美濃焼の歴史や魅力、地域の風土を存分に感じ、楽しむことができる、東美濃地域の産業・地域・文化に密着した事業を多数開催します。陶磁器の一大産地「セラミックバレー」と世界の陶磁器の展示、環境に配慮した「Re-食器」と地元の食材を使った料理、本格的な茶室での呈茶サービスなどを開催し、皆さまのご来場をお待ちしております。

問:国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会事務局 ☎0572-25-4111 <https://www.icfmino.com/>